

クイック マスター

in

損益計算書

森藤一男 著

クイック マスター

in

損益計算書

森藤一男 著

東洋経済新報社

著者紹介

- 昭和7年 福井に出生
30年 早稲田大学商学部卒業
35年 早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了
現在 明治学院大学教授，国際会計研究学会理事，
税理士試験委員，建設業経理事務士検定試験委員，公認会計士
主 著 『講座財務諸表論』（共著，中央経済社），
『要説商業簿記』（編著，中央経済社），『国際会計論』（共著，東洋経済新報社）

クイック マスター 損益計算書

定価 1200 円

昭和59年11月1日 発行

著者 もりとうかずお 森藤一男
発行者 高柳 弘

発行所 〒103 東京都中央区日本橋本石町1の4 東洋経済新報社
電話 編集 03(246)5661・販売 03(246)5467 振替 東京3-6518

本書の一部または全部の複写・複製・転載・磁気媒体への入力等を禁じます。これらの許諾については，小社(電話03-246-5634)までご照会ください。

© 1984 〈検印省略〉 落丁・乱丁本はお取替えいたします。

Printed in Japan ISBN 4-492-60030-2

まえがき

現在、わが国は世界第一位の長寿国にランクされるようになりました。この医療面での輝しい成果は、生活水準の向上、社会保健制度の充実など、いろいろの原因からもたらされたものですが、すぐれた医療機器の発展普及に大きく依存していることは、いうまでもありません。レントゲンからスキャナーに至る医療機器の発展普及が、定期検診制度の一般化とあいまって、人体の構造に関する精密な観察を可能にし、病源の的確な把握・治療へと結びつき、さらには有効な予防措置へと導いていったのです。

“企業”それは生き物です。それは、急激な環境の変化のなかで、その変化に適応しつつ自己の生存と成長をとげてゆく生き物なのです。ここでは、企業の経営者を大脳、従業員を細胞、企業を循環する資金を血液におきかえて考えることができます。しかも、この企業という生物は、人間の場合と違って、その管理の仕方が良ければその生命を永遠に持続することができるのです。

企業の機能の特徴を示した解剖図、それが本書で取り扱う「損益計算書」です。それ一枚みれば、企業という生物の一年間の生態が手にとるように明らかになる、というわけです。しかもこの解剖図は、わが国の主要な企業のひとつについて、安い価格で誰でも入手することができます。1章では、この損益計算書による企業活動の動態分析に関する三つのポイントを論じています。

しかしながら、解剖図による人間の生態の解説にとって医学の専門知識を必要とするのと同様、損益計算書による企業活動の分析においても、損益計算書の性質について正しい知識をもっていることが、当然の前提になります。2章「損益計算書の仕組み」は、そのために必要とされる知識を体系的に取り扱っています。各項目ごとに添付した「問題」は、皆さんの理解をいっそう促進するための一助になると思います。

3章以下では、2章で学んだ「仕組みについての正しい知識」を生かす方向で、「損益計算書の利用法」を述べております。3章では収益性の読み方を、4章では生産性の読み方を、そして5章では成長性の読み方を述べました。

こうした三つの分析の視点は、企業を「社会的な富の生産と分配を営む永続的な生産組織」とみる見方に立脚したもので、企業活動に直接・間接の利害関係をもつ人びと（経営者、株主、債

権者、従業員、消費者、関係官庁、地域住民）を包括した企業観を反映したものです。これら三つの観点からの分析を通じて、企業の生態に関する現状と将来についての正しい理解が得られるものといえます。

3章から5章までの損益計算書の分析は、企業の経済活動の「現状の観察」とそれを基礎にした「将来の展望」を試みるものでした。しかし、企業の成長発展を図るためには、単なる観察・展望に止まらず、さらになぜそうなったのか、その原因を明らかにしなければなりません。6章「利益の増減原因を読みとる」は、そのために設けられました。

現在の企業会計制度のもとでは、一年決算の会社については、情報開示の適時性という要請から中間財務諸表の開示が、また企業集団を形づくっている会社については、企業の業績の総合観察の要請から連結財務諸表の開示が要請され、現にほとんどの大会社はこれらの計算書を公開しています。7章は、これらの損益計算書の性質とその利用の仕方について述べてあります。いずれも、6章までで学んだ「個別損益計算書による分析」を補完するものとして欠かせないものです。

本書での以上の展開にあたっては、生、き、た、知、識、を身につけていただくため、H製作所の損益計算書を実例としてとりあげ、また理解しやすいよう、できるだけやさしく書くように心掛けまし

た。本書を読まれるとき、少し面倒でも、本書で展開している各計算式を電卓で実際に計算してみて下さい。そのような作業は、損益計算書分析の理解をいっそう促進させ、分析への魅力をいっそうかきたてるものだからです。

企業の損益計算書は開かれた情報の一つで、その利用の巧拙いかんは、あなた自身の未来と大きなかわりあいをもっています。本書が、あなたの経済生活における確かな道標の一つとなれば、筆者の喜びこれにすぎるものではありません。

本書の出版に当たっては、東洋経済新報社出版局の原正輝氏に格別のお世話になりました。紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

昭和五九年九月五日

森藤一男

改正商法・新会計諸則に基づいた決定版

会計学辞典

黒澤 清 編集代表

現代会計学の集大成を
この1冊に凝縮

戦後日本の会計制度・会計学界の生みの親であり、育ての親でもある黒澤清博士が企画・編集に心血を注いで完成された本格的大辞典！

立体的理解に便利な
生きた体系表をもった唯一の辞典

- 巻頭に体系表を設け、表中の項目もすべて索引に掲げました。したがって索引に示された体系表ページを見ることがにより、項目の体系的な位置付けを知ることができます。
- 国際会計、会計情報システム、企業社会会計などの先端領域も取り入れ、新時代に即した体系化を行いました。
- 経営分析、企業財務など、会計周辺領域をもフォローしました。

5000余に及び項目を収録し、
簡潔・正確に解説

- 体系分野ごとに編集責任者を置き、項目の漏れを防ぎました。その結果、収録項目は5000、さらに索引項目は約1万余の多数に及んでいます。
- 商法、計算書類規則、企業会計原則・注解、税制などの今改正は、すべて完全収録しました。
- 利用者の便宜を考え、税務会計もあえて別枠とせず、本文中に織り込み、50音配列しました。

編集委員

合田 義雄
井田 清雄
江村 清光
小川 洸
黒澤 清
小島 男
若杉 勝之
諸井 之
原田 富
中島 幸
富岡 省
津曲 幸
鳥村 直
剛 剛
明 助
雄 雄
若 雄

推薦します

谷村 裕	鈴木 竹雄	川北 博	日本公明会計士協会の会長
前東京証券取引所理事長	法制審議会商法部会長		

定価 13,000円(税別)
●A5判 ●968頁 ●上製箱入

東洋経済新報社

目次

まえがき

1章 損益計算書を見る三つのポイント 1

① 意思決定に必要な情報……………2

② 企業会計の仕組み……………8

③ 財務情報を作成するプロセス……………12

④ 収益性、生産性、成長性……………17

⑤ 企業財務情報を公開する制度……………23

⑥ 財務分析のための資料……………28

2章 損益計算書の仕組み 31

3章 企業の収益性を読みとる 71

①	損益計算書に記載する項目	38
②	売上高と売上原価	39
③	販売費および一般管理費等	54
④	損益計算書の構造	61

4章 企業の生産性を読みとる 109

①	収益性を読みとるポイント	72
②	資本利益率を読みとる	74
③	売上利益率を読みとる	85
④	資本回転率を読みとる	92
⑤	利益処分を読みとる	100
⑥	収益性比率の期間比較	103
①	生産性の分析と附加価値	110

2	附加価値計算書を作る……………	113
3	附加価値計算書を読みとる……………	118
4	生産性の各指標の相互関係……………	125
5	レーダ・チャートによる比較……………	130
5章 企業の成長性を読みとる …………… 135		
1	なぜ企業の成長性を分析するか……………	136
2	企業の成長性の指標……………	139
3	趨勢比率で成長性を読みとる……………	143
4	資本、売上高、利益の構造計画……………	146
5	目標資本利益率を実現する……………	154
6	損益分岐点を読みとる……………	160
6章 利益の増減原因を読みとる …………… 165		
1	増減原因を分析する意義……………	166

7章

中間・連結損益計算書を読みとる

183

- ② 利益の増減原因を読みとる

..... 169

- ③ 製造原価の増減原因を読みとる

..... 178

- ① 中間損益計算書を読みとる

..... 184

- ② 連結損益計算書を読みとる

..... 193

- ③ 有益な統計資料の活用

..... 204

損益計算書をみる二つのポイント

1章



思いたたが吉日

▽1△ 意思決定に必要な情報

百聞は一見に如かず。損益計算書とはなんであるか、をいうまえに、まず実物をお目にかけてみましょう。四ページに掲げたものがそれです。

この損益計算書は、総合電気機械メーカーであるH製作所の第一一四期（昭和五七年四月一日から昭和五八年三月三十一日）事業年度のものです。これは、同社が五八年六月末に開示した『有価証券報告書総覧』に記載されていたものに若干の修正を加えたものです。このコピーは、だれでも政府刊行物サービス・センターやサービス・ステーションで手に入れることができます。

私たちは、この損益計算書や他の計算書、たとえば製造原価報告書、利益金処分計算書などを分析して、H製作所の昭和五八年度の営業活動の実態を知ることができます。それは、会社の営業活動の実態を知ろうとする人びとによって、株式の売買、資金の貸付、質上げ交渉、徴税などを行なうさいに必ずといってよいほど多く利用されるものです。

なぜ利用するかといえば、それがH製作所の昭和五八年度の営業活動の実態について、正確な知識をその利用者に与えているからです。この損益計算書は、昭和五八年度中にいくらの売上高

があり、またいくらの費用がかかったか、そして、その結果いくらの利益を得たかを示しているからです。

このため、その利用者は、この損益計算書を分析することを通じて、どれくらいの配当が期待できるか、元金や利息は安全に回収できるか、どの程度の貸金支払能力をもっているか、などについての「新しい知識」を手に入れることができるからです。そして、彼らはこの新しい知識にもとづき「H製作所の株式を1000株買おう」とか「8000円のベースアップを要求しよう」といった意思決定を行なうわけです。

必要な正しい知識

損益計算書を用いて企業の営業活動を表現しようとするとき、地図の場合と同じように、記号を用いてその特徴を表わそうとします。そこで用いられる記号は、科目と金額を対とする記号です。たとえば、「一般取引先に対する売上高」とか「福利厚生費」といった名称は、ここである科目に相当し、またその右に付されている数字は金額を表わしています。損益計算書は、この「科目と金額を対とする記号」の一定の組合せから構成されているのです。

したがって、企業の営業状況がどうなっているかを正しく理解するためには、その利用者は、

表 1-1 H製作所の損益計算書

(単位 百万円)

科 目	(第113期) 昭和56年4月1日～ 昭和57年3月31日		(第114期) 昭和57年4月1日～ 昭和58年3月31日	
	金	額	金	額
I 売 上 高				
1. 一般取引先に対する売上高	1,285,008		1,412,611	
2. 関係会社売上高	855,897	2,140,905	920,661	2,333,273
				100.0
II 売 上 原 価				
1. 製品・半製品期首棚卸高	176,927		212,631	
2. 当期製品製造原価	1,660,518		1,778,451	
合 計	1,837,446		1,991,083	
3. 製品・半製品期末棚卸高	212,631	1,624,814	211,903	1,779,179
4. 物 上 総 利 益		32,808		36,860
		483,282		517,234
				22.6
III 販売費及び一般管理費				
(1) 販 売 直 接 費				
1. 荷 造 及 び 金 繰 入 費	62,879		59,215	
2. 補 償 引 当 金 繰 入 額	2,352		409	
3. 電算機買戻損失引当金繰入額	1,369		1,541	
4. その他の販売直接費	53,250		47,484	
合 計	119,852		108,651	

(2) 販売間接費及び一般管理費						
1.	工 具 備 品	292		603		
2.	消 耗 品	1,629		1,733		
3.	貸 倒 引 当 金	24		—		
4.	役 員 給 与	252		281		
5.	給 料 諸 手 入	59,371		64,555		
6.	退 職 金 繰 入	3,934		4,316		
7.	福 利 厚 生 費	6,056		6,653		
8.	減 価 償 却 費	6,728		8,447		
9.	地 代 費	5,321		6,950		
10.	修 繕 費	1,872		2,305		
11.	動 力 照 明 費	1,351		1,561		
12.	租 税 課 当	2,031		3,037		
13.	事 業 税 引	19,300		22,200		
14.	旅 費	6,805		7,353		
15.	通 信 費	3,033		3,218		
16.	廣 告 宣 伝 費	16,604		19,774		
17.	国際科学博出展引当金繰入額	—		625		
18.	外 注 経 費	13,786		16,268		
19.	そ の 他	29,894		28,284		
合 計		178,292	298,144	198,173	306,824	14.7
営 業 利 益			185,138	8.6	210,411	9.0